

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公開番号】特開2007-122593(P2007-122593A)

【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2005-316713(P2005-316713)

【国際特許分類】

G 06 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/00 5 3 3 J

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月31日(2008.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記憶媒体にグループとして記憶された複数のコンテンツを複製し、通信手段によって接続された外部装置に該グループ単位で送信する第1の送信手段と、

前記記憶媒体に記憶されたコンテンツと、前記送信手段により送信されることにより前記外部装置に記憶されたコンテンツとを同期させる指示を行う指示手段と、

前記指示に基づき、前記記憶媒体に記憶されたグループを識別する識別情報を前記外部装置から受信する受信手段と、

前記受信手段により受信した識別情報と、前記記憶媒体に記憶されたグループを識別する識別情報を比較する比較手段と、

前記比較手段により比較した識別情報が対応すると判断されたグループに属するコンテンツ同士を同期させる同期手段

を備える情報処理装置。

【請求項2】

前記外部装置に記憶されたグループは、通信手段を介して複数のユーザ端末が外部装置に接続することにより表示或いは編集可能であることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記記憶媒体に記憶されたコンテンツのうち、前記第1の送信手段により送信したコンテンツが前記外部装置に存在する場合に、その旨を示す複製情報を設定する複製情報設定手段と、

前記記憶媒体に記憶されたグループ内にあるコンテンツの追加・削除を行う第1の編集手段と、

前記第1の編集手段とは独立に、前記外部装置に記憶されたグループ内にあるコンテンツの追加・削除の指示を行う第2の編集手段とを備え、

前記同期手段は、前記第2の編集手段による指示に応答してコンテンツが追加されている場合には、該コンテンツを前記記憶媒体に複写し、前記第2の編集手段による指示に応答してコンテンツが削除されている場合には、該コンテンツに対応する前記記憶媒体に記憶されているコンテンツに対して設定された、前記複製情報を消去することを特徴とする請求項1から2に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記記憶媒体に記憶されたコンテンツを前記同期手段によって同期させない旨を示す禁止情報を設定する禁止情報設定手段を備え、

前記同期手段により複製情報が消去された場合には、前記禁止情報設定手段により禁止情報を設定することを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記同期手段は、前記外部装置に記憶されたコンテンツの付属情報を前記記憶媒体に記憶されたコンテンツの付属情報に反映させることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

複数のコンテンツを含むグループを識別する識別情報を要求する指示を外部装置から受信する第1の受信手段と、

前記第1の受信手段により受信した指示に応答して、前記識別情報を前記外部装置に送信する第1の送信手段と、

前記第1の送信手段により送信した識別情報のうち、前記外部装置に記憶されたグループの識別情報と対応するグループ内のコンテンツを同期させる指示を前記外部装置から受信する第2の受信手段と、

前記第2の受信手段により受信した指示に基づいて、コンテンツを同期させる同期手段を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

前記外部装置から送信されたコンテンツを受信する第3の受信手段と、

前記第3の受信手段とは独立に、他の装置からコンテンツを受信する第4の受信手段と、

コンテンツが前記第4の受信手段で受信したコンテンツであることを示す外部受信情報を設定する外部受信情報設定手段とを備え、

前記同期手段は、前記外部受信情報が設定されたコンテンツを複写して前記外部装置に送信することを特徴とする請求項6に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記第2の受信手段により受信した指示は、前記外部装置に記憶されていないコンテンツであって、前記外部受信情報が設定されていないコンテンツを削除する指示を含むことを特徴とする請求項7に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記同期手段は、コンテンツの付属情報を前記外部装置に送信する第3の送信手段を備えることを特徴とする請求項6に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

記憶媒体にグループとして記憶された複数のコンテンツを複製し、通信手段によって接続された外部装置に該グループ単位で送信する第1の送信工程と、

前記記憶媒体に記憶されたコンテンツと、前記送信工程により送信されることにより前記外部装置に記憶されたコンテンツとを同期させる指示を行う指示工程と、

前記指示に基づき、前記記憶媒体に記憶されたグループを識別する識別情報を前記外部装置から受信する受信工程と、

前記受信工程により受信した識別情報と、前記記憶媒体に記憶されたグループを識別する識別情報を比較する比較工程と、

前記比較工程により比較した識別情報が対応すると判断されたグループに属するコンテンツ同士を同期させる同期工程

を備える情報処理方法。

【請求項 11】

複数のコンテンツを含むグループを識別する識別情報を要求する指示を外部装置から受信する第1の受信工程と、

前記第1の受信工程により受信した指示に応答して、前記識別情報を前記外部装置に送

信する第1の送信工程と、

前記第1の送信工程により送信した識別情報のうち、前記外部装置に記憶されたグループの識別情報と対応するグループ内のコンテンツを同期させる指示を前記外部装置から受信する第2の受信工程と、

前記第2の受信工程により受信した指示に基づいて、コンテンツを同期させる同期工程を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項12】

コンピュータに、

記憶媒体にグループとして記憶された複数のコンテンツを複製し、通信手段によって接続された外部装置に該グループ単位で送信する第1の送信工程と、

前記記憶媒体に記憶されたコンテンツと、前記送信工程により送信されることにより前記外部装置に記憶されたコンテンツとを同期させる指示を行う指示工程と、

前記指示に基づき、前記記憶媒体に記憶されたグループを識別する識別情報を前記外部装置から受信する受信工程と、

前記受信工程により受信した識別情報と、前記記憶媒体に記憶されたグループを識別する識別情報とを比較する比較工程と、

前記比較工程により比較した識別情報が対応すると判断されたグループに属するコンテンツ同士を同期させる同期工程

を実行させるプログラム。

【請求項13】

コンピュータに、

複数のコンテンツを含むグループを識別する識別情報を要求する指示を外部装置から受信する第1の受信工程と、

前記第1の受信工程により受信した指示に応答して、前記識別情報を前記外部装置に送信する第1の送信工程と、

前記第1の送信工程により送信した識別情報のうち、前記外部装置に記憶されたグループの識別情報と対応するグループ内のコンテンツを同期させる指示を前記外部装置から受信する第2の受信工程と、

前記第2の受信工程により受信した指示に基づいて、コンテンツを同期させる同期工程を実行させるプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

そこで、本件第1の発明における課題を解決するための手段は、記憶媒体にグループとして記憶された複数のコンテンツを複製し、通信手段によって接続された外部装置に該グループ単位で送信する第1の送信手段と、前記記憶媒体に記憶されたコンテンツと、前記送信手段により送信されることにより前記外部装置に記憶されたコンテンツとを同期させる指示を行う指示手段と、前記指示に基づき、前記記憶媒体に記憶されたグループを識別する識別情報を前記外部装置から受信する受信手段と、前記受信手段により受信した識別情報と、前記記憶媒体に記憶されたグループを識別する識別情報とを比較する比較手段と、前記比較手段により比較した識別情報が対応すると判断されたグループに属するコンテンツ同士を同期させる同期手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本件第2の発明における課題を解決するための手段は、複数のコンテンツを含む
グループを識別する識別情報を要求する指示を外部装置から受信する第1の受信手段と、
前記第1の受信手段により受信した指示に応答して、前記識別情報を前記外部装置に送信
する第1の送信手段と、前記第1の送信手段により送信した識別情報のうち、前記外部裝
置に記憶されたグループの識別情報と対応するグループ内のコンテンツを同期させる指示
を前記外部装置から受信する第2の受信手段と、前記第2の受信手段により受信した指示
に基づいて、コンテンツを同期させる同期手段とを備えることを特徴とする。